

花園小学校区 ふくし井戸端会議（第1回）ダイジェスト



発行元：半田市 平成29年7月発行

日時：平成29年7月11日（火）

13時30分～15時00分

場所：神戸公民館 第1会議室

内容：避難所運営ゲーム（HUG）

①体験 ②まとめ

参加人数：23名

平成28年度の振り返り

昨年4月に発生した熊本地震を受けて、発生が危惧されている巨大地震に備えて、家庭や地域で何をしなければならぬかを話し合い、地域のみなさんの防災意識が高まりました。

そこで、29年度の最初のふくし井戸端会議で、カードゲームを通じて避難所運営のシミュレーションができる「避難所運営ゲーム（HUG）」をやってみることにしました。



避難所運営ゲーム(HUG)とは？

避難者の年齢や性別、国籍やそれぞれが抱える事情が書かれたカードを、避難所に見立てた平面図にどれだけ適切に配置できるか、また、避難所で起こる様々な出来事にどう対応していくかを模擬体験するゲームです。

①体験

半田災害支援ボランティアコーディネーターの会の進行により、3グループに分かれて体験しました。

避難所となる体育館では、避難者が移動できるよう最初に通路を確保します。

実際に避難所が開設された場合、地域の被災状況・避難所への避難者数・避難者の身体状況などの様々な条件により、各避難所での対応は異なります。そのため、HUGに正解はなく、避難所を運営する個人の意見が異なる場合は、グループで話し合いをして対応を考えていきます。

今回、地域外の避難者など想定外の局面について、グループ内で共有し考えることができました。

②まとめ

参加された方からは、こんな声がありました。

- ◆避難所には、公平・公正の原則がある。
- ◆避難者の要望は、日々変化する。
- ◆避難所生活が長期間（3週間以上）経過すると、心の病気を患う方も見受けられることから休憩室の設置も検討する。

『ふくし井戸端会議』

に、ご参加ください。

みなさん、お待ちしております！！

＜お問い合わせ先＞

半田市社会福祉協議会

半田市地域福祉課

☎0569-23-7361

☎0569-84-0641